

2017年 2月 5日 《聖餐式》

主 日 礼 拜

①8時半～

② 10時半～

③夜7時～

司 会

①石井師

②石井 秀人兄

③石井師

樂 奏

①石井師

②白川 達男兄

③石井師

替 美

聖歌480番 & 「聖霊様あなたを求めます」

使徒信条

聖書

①ローマ人への手紙15章1～6・13節

②ルカによる福音書5章1～11節

特別贊美

宮田四郎兄（ホルン）

メッセージ

「希望の源である神様」大川 従道 牧師

「私たちを見ていてくださるお方」石井潤牧師

聖餐式

賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金

聖歌229番

[献金当番：渡辺姉・青木姉]

祝 禱

お知らせ

【司会者】

替 美

「注ぎたまえ主よ」

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

1. 本日昼食後 1 時～、ヤングチャペルと聖書の学びが行われます。
2. 今週の祈り会は、①木曜は午前 10 時半～、②夜 7 時半～、メッセージは、坪井永城先生(大和祈禱会映像)。③土曜日夜 8 時～、準備祈禱会(石井牧師)。
3. 来週の日曜礼拝では誕生祝福式。午後は「もちつき大会」と執事会です。

2/16(木):大手家庭集会 23(木):WOGA 集会 26(日):聖歌隊

27(月):長野家庭集会

一年に一回聖書を完読できる！ *Bible Reading Plan* [2/5~/12]

[illegible]

「私たちを見てくださるお方」

～罪の泥沼に共に生きておられる主～

「主は天から人の子らを見おろして、賢い者、神をたずね求める者があるかないかを見られた。彼らはみな迷い、みなひとしく腐れた。善を行う者はない、ひとりもない。すべて悪を行う者は悟りがないのか。彼らは物食うようにわが民をくらい、また主を呼ぶことをしない。その時、彼らは大いに恐れた。」

詩篇14篇2～5節

私たちの世界は、何によって動いているのでしょうか？世界は人間の集合体です。人間の心がその根幹と言っている。人の生きる方向性は何によって決定づけられているのでしょうか？私たちは皆人間関係の中に生かされています。人が自分をどのように感じているか？自分の存在が他者にとってどのような影響を与えているのか？

教会に時々悩み相談のようにしてお電話をかけて来られる方がおられる。その悩みのすべては、その方の「恐れ」の心から出てきているように感じさせられます。私たちはどんなときも少なからず他人の目を気にしながら行動している。他者との距離感、関係性が上手にできないと、この社会では生きていくことは難しい。しかし、現在は、その人間関係が煩わしく、その関係をシャットアウトしてしまうような社会となってきた。忙しくなればなるほど、不景気になればなるほど人間は閉鎖的になってしまう。その「恐れ」の心は「不安」な心が原因です。心に平安がない、不安定である、アンバランスである状態です。そのどうしたらよいか、迷いに迷っている心がやがて私たちを不安にし、恐れに満たしていきます。そして、その心を持続けると、私たちは鬱的になり、病気になります。そんなことは気にしないで上機嫌で生きていくことができる人は幸せ者といえるかもしれませんが、人間の心が確固たる平安、揺るがない安心によって満たされなければ根本的に幸せになることはできないと思います。

芥川龍之介の「蜘蛛の糸」では、主人公のカンダタを地獄から救い出すためにお釈迦様が天から蜘蛛の糸を垂らしました。しかし、人間の業(罪)があまりにも重いために再び地獄に墮ちていってしまいました。不安と恐れに満ちた私たちの真ん中に「蜘蛛の糸」ならぬ、イエス様ご自身が救い主として降りてきてくださいました。そして、身代わりに十字架にかかれて私たちを罪から解放してくださいました。すでに救いが与えられているのです。「あなたの将来には希望がある」と言われる主は、すでに私たちに豊かな揺るがない希望を与えておられます。

「そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまこととに満ちていた。」ヨハネ1:14

アメジング・グレイスの作者ジョン・ニュートンは告白しました。「確かに覚えているものがある。一つは、私が愚かな罪人であること。もう一つは、キリストが偉大なる救い主であること」